



# 興南(男)堂々14連覇

## 王者らしい安定感 チーム力、全員出場

県内男子ハンドボールの王者らしく、興南は決勝で圧勝した。那覇西を相手に前半から大きくリードし、後半は控えメンバーも全員

出場させ27-15とチーム力を見せつけた。黒島宣昭監督は「守備で踏ん張り、シュートもしっかり決めた」と安定感ある内容を高く評価した。

得意とする3-2-1守備では内間健太、石渡響らが、体をねじ込んでくる那覇西のセットプレーに対し、警告を受けないように外で止め、相手エースにはロングシュート勝負でミスをつけた。

攻撃はセンターの石渡がうまくつなぎ、伊禮雅太の個人技、石嶺秀の高い打点のロングやミドルにつなげた。左サイドの平田怜も高い決定力を見せるなど、的確な攻撃で全制覇を目前にした。各ポジションが力を発揮した。

14連覇の重圧を乗り越え、九州や全国大会への弾みをつけた。慶田花松主将は「優勝は父母や先輩のおかげ。全国でもきょうのように堅い守備と、確実に決める攻撃で全国制覇を目指す」と意気込んだ。

(嘉陽拓也)



2年ぶりに優勝を果たした女子浦添商



14連覇を達成した男子興南

浦添商一那覇西 後半、ドリブルで守備をかわしシュートを決める  
浦添商の伊良部結生=29日、県総合運動公園体育館 (大城直也撮影)



# 浦添商(女)2年ぶりV

## 文句なしダブルスコア

ハンドボール  
(県総合運動公園体育館)

▽決勝  
興南 27-13 14-7 15 那覇西  
浦添商 26-16 10-7 13 那覇西  
▽女子

## 鉄壁の守備貫き

女子決勝、浦添商業は鉄壁の守備を60分間貫き、那覇西のパワーも戦意もそぎ落とし、文句なしのダブルスコアで2年ぶりの優勝をつかみ取った。攻守でレベルアップの成果を見せた選手らに玉城晴美監督も「優勝から遠ざかり、全国大会でも勝ち上がれず苦しんでいた選手らが集中力を切らさず

## 焦点

に優勝をつかんだ。全国につながる勝利です」と喜んだ。

堅守速攻の理想的な試合だった。横一線守備では、中央の山城海希が攻め込む相手をしっかりと正面で捉え、抜かれても橋口明歩や宮里真帆らのカバーで抑え込む。両サイドまで1対1でほぼ抜かれることなく、タフなシュートをGK山入端梨乃がはじいた。

浦添商業の重圧に那覇西のパスも

乱れ始めると「相手のミスを素早く速攻につなげよう」(橋口)と、伊良部結生らの素早い出足が随所で生きた。

右45度の宮里が1対1で縦の攻撃を警戒させつつ、左サイドの橋口が相手守備に切り込み壁をつくり、左45度の野底夢実のシュートにつなぐ。さらに、センターの我那覇葵からのロングパスを受けた右サイドの比嘉杏莉から、相手守備をすらし、逆サイド方面へとシュートチャンスをつくるなど、ハーフコートの戦術も多彩だった。

特に後半は約24分間を2失点に抑える圧倒的な内容だった。

春の選抜大会以降、宿敵・浦添を想定した徹底練習で力を増した浦添商。頂上対決はかなわなかったが宮里や我那覇らは「浦添のためにも、全国で勝ち上がりたい」と語り、多くの仲間思い胸に全国での活躍を誓った。(嘉陽拓也)